

NEDO 懸賞金活用型プログラム／GENIAC-PRIZE 2026
テーマ 2：人材育成 自由参加課題応募要件（事業者）

1. 目的

本課題（以下、「自由課題」）は、GENIAC-PRIZE 人材育成の一環として、必須課題※とは別に、学生の自主性及び挑戦機会の拡充を図り、フィジカル AI 分野における実践的課題を通じて能力開発の向上を目的として、企業・団体等（以下「事業者」）から広く課題提案を募集するものである。※必須課題内容については、特設サイト応募概要内 テーマ 2<必須参加課題概要>を参照すること。

2. 応募要件

（1）課題内容

以下を満たすこと。

- GENIAC-PRIZE 2026 のテーマ 2 必須課題の目的と合致しており、「現場課題」の解決に資するフィジカル AI に関連する実践的課題であること
例：ロボット制御（実機又はシミュレーション）、VLM・VLA を用いたタスク実行、自律移動体における走行制御・経路最適化課題 等
- 学生が一定期間で取り組み可能なスコープであること
- 成果物（モデル、制御プログラム、課題結果等）が明確であること
- 開発成果の審査方法を設計し、審査項目等を定めること

（2）課題規模・期間・実施方法

以下を満たすこと。

- 学生受入人数：10 名以上（基本的に個人とするが、チーム単位の設定も可能とする）
- 実施期間：原則、26 年 11 月～27 年 2 月中旬で実施する。一課題の実施期間は 1 日～1 週間程度を目安とする。ただし、上記期間内であればこれより長い実施期間を設定することも妨げない。
- 実施形式：対面、ハイブリッド又はオンライン形式とする。

（3）提供リソース

以下を準備すること。

- 課題環境（シミュレーション環境、実施場所等）の提供
- 課題実施に必要なロボット、センサー、設備、計算リソース等の提供
※必要に応じて、参加者が一部準備する形式も可とする
- 課題サポート体制の構築
- 3 名以上の審査委員の推薦
※事務局と協議のうえ、課題内容を審査する適切な審査員を 3 名以上推薦すること。なお、審査委員については、NEDO が委嘱手続を行う。

（4）課題審査までの流れと役割分担

以下の課題審査までの流れと役割分担を前提とした運営が可能であること。

項目	内容	担当
学生募集・案内	必須課題に参加した学生への、自由課題への応募案内	GENIAC-PRIZE 運営事務局
書面スクリーニング	学生の応募者が多数の場合、書面スクリーニングにより応募者を選抜	GENIAC-PRIZE 運営事務局及び事業者
課題実施環境の提供	(3) 提供リソースに記載したとおり	事業者
受賞者を決定する審査委員会での審査委員の推薦	(3) 提供リソースに記載した、課題の審査に適した人物の推薦	事業者
審査委員会の委員の委嘱手続き	委員会の設置・委員委嘱	NEDO
審査委員会での開発成果の審査方法の設計	開発成果の審査方法（評価項目）の設計	事業者（事務局と協議すること）
課題の実施・開発成果の取りまとめ	課題の実施と、開発成果を審査が可能なものへの取りまとめ	事業者
審査委員会の開催	開発成果の順位付けなどを行う審査委員会の開催	GENIAC-PRIZE 運営事務局（事業者も傍聴可）
審査委員会での委員への謝金支払いおよび懸賞金の交付	委員への謝金支払いおよび学生への懸賞金の交付	NEDO

（５）参加要件と選定方法の設定

事業者は、課題内容に応じて、参加者に求める応募要件（年齢・スキル・事前準備など）を設定すること。応募者多数の場合、要件に基づき事務局・事業者において参加者の選考を行うことができる。原則、本懸賞金課題に参加した学生を対象とすること。

（６）懸賞金受賞者の設定

予算枠上限 100 万円を前提に、懸賞金の設定案を提案すること。

※複数の受賞枠を設定することも可能。

例：1 位 50 万円、2 位 30 万円、3 位 20 万円 等

※本課題とは別に企業が自社でスポンサー賞を設けることは妨げない。

（７）安全・法令対応

以下について適切に対応すること。

- ・ 実施に当たり必要な安全確保措置を講じること
- ・ 個人情報及び機密情報の適切な管理を行うこと
- ・ 法令遵守及び倫理面への配慮を行うこと

（８）知的財産権

提出された成果に関する著作権その他の知的財産権は応募者に帰属する。提出する成果は、第三者の著作権その他知的財産権を侵害していないものに限る。

※なお、応募者と事業者との間で、著作権その他の知的財産権を共同で保有することを妨げない。

（９）成果の取扱い

原則、成果は公開するものとする。ただし、事務局が認めた場合は公開範囲を事業者が設定可能とする。

3. 課題設定の審査・選定

（１）審査方法

事業者の応募内容に基づき、事務局において審査を行い、自由課題を決定する。

（２）審査観点

以下の観点に基づき総合的に評価する。

- ・ 課題の社会的意義・政策的意義
- ・ 学生の成長機会としての有効性
- ・ フィジカル AI 課題としての妥当性・実現可能性
- ・ 実施体制・安全性

4. スケジュール（予定※状況に応じて変更又は延長する場合がある）

- ・ 事前相談・ヒアリング：2026 年 6 月 19 日～7 月 10 日
- ・ 応募期間：2026 年 7 月下旬～8 月下旬
- ・ 採択決定：2026 年 9 月下旬
- ・ 自由課題を特設サイトで公表：2026 年 9 月中
- ・ 学生応募期間：2026 年 10 月～11 月
- ・ 課題実施：2026 年 11 月～2027 年 3 月
- ・ 成果発表：2027 年 3 月末

5. 応募方法

所定の応募フォームに必要事項を記載の上、事務局へ提出すること。

6. 留意事項

- ・ 本課題は任意参加型とし、学生は公開された課題の中から選択して応募するものとする
- ・ 本要領に定めのない事項については、事務局の指示に従うものとする